

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腹膜透析・血液透析併用療法の長期予後および腹膜機能の後方視的検討_____』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 腎センター_科 職位・氏名 院内助教(任期)・山田英行

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は腹膜透析と血液透析の併用療法を行った患者の長期予後や腹膜機能、生存率を調査する_____ことを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、併用療法を行った患者様の長期予後や腹膜機能の検討をした研究は少なく、腹膜透析と血液透析の併用療法を行った患者様の長期予後や腹膜機能の推移、生存率などを集積することで、今後の併用療法の発展に貢献することにつながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 血液、腹膜透析排液検査

情報: 病歴、診療の治療歴、性別、年齢、合併症、慢性腎不全の原因疾患、身長、体重、アンケートの回答結果等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年6月より利用を開始します

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2008年1月～2024年3月までに東邦大学医療センター_大森病院

腎センター_科と2007年3月～2023年12月までに済生会横浜市東部病院腎臓内科において、腹膜透析と血液透析を併用した方

方法: 診療録(カルテ)及びご回答頂いたアンケートから抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院腎臓学講座_研究代表者: 山田英行_役職: 院内助教(任期)_____

【利用する者の範囲】

共同研究機関: 済生会横浜東部病院 腎臓内科 鯉淵清人 役職: 副部長)

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院病院/東邦大学医学部腎臓学講座

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年6月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院病院 腎センター科

職位・氏名院内助教(任期) 山田英行

電話_03-3762-4151_ 内線 77430 _____